

高山こくどうニュースレター 2019年新春号

事務所屋上から見た乗鞍岳

皆様、明けましておめでとうございます。平成最後の年、最初のニュースレターにあたりご挨拶をさせていただきます。昨年は、7月豪雨をはじめ非常に災害の多い年でした。年末年始のご挨拶、様々な集まりに伺っても話題は常に「災」が冒頭に挙がっていたように思います。本年は、是非とも災害の少ない年に、との願いを持ちつつ、発生した際にはしっかりと対応できるよう事務所一丸となって事前に備え、地域の皆様のご協力も頂きつつ取り組んで参りたいと思います。

さて、ちょうど1年前にスタートしました「飛騨びとリレーメッセージ」も1年間で12名（以下一覧参照）の方にお話を伺いご紹介をさせていただきました。ご協力頂きました皆様、また記事をご覧頂いた皆様ありがとうございます。

12名の方々、それぞれのお立場でそれぞれの想いをお話し頂きましたが、以下のような部分について、共通する部分や似たようなお考えのものもあったものと感じております。

- ◇ **飛騨には魅力があり、またその魅力を秘めた資源がある**。それを広く伝え関心を持ってもらうこと、更に磨き、再発掘すること、各地の独自の魅力が連携し相乗効果をもつことが必要
- ◇ **飛騨の土地・場所、そのものに地の利がある**。大都市から遠い、雪深く山深いことをデメリットではなく、どこにでも行ける中心地・クロスロード・ハブ、他にはない気候等を持つ特別な地としてとらえ、活かすべき
- ◇ 飛騨の特徴を活かし、**飛騨地域外の消費や資金、いわば外需を取り込んでいくべき**。人口減少・労働力減少等の課題に対し、交流人口を増やし、長く滞在する方を増やし、飛騨ブランドを創出し、人口減少先進地飛騨の取り組みが、日本の活力となるべき
- ◇ これらを成し遂げるためには、**飛騨域内外の「地域間連携」が重要**であるとともに、日本各地そして世界の方々が、**「安全、安心に交流・来訪できる手段」が必要**



高山国道事務所長
野津 隆太

「地域間連携」を支え「安心、安全に交流・来訪できる手段」を提供すること、これら飛騨地域の皆様方が期待されていることこそが我々高山国道事務所として取り組む道路の整備、管理のなすべき仕事、役目だと思っております。これらの役目をしっかりと果たせるよう、本年も職員一同頑張ってお参ります、引き続きよろしくお願いたします。

★過去のニュースレター「飛騨びとリレーメッセージ」★

高山市 國島市長 (H30.1 vol.1)

「これから始まる『新企画』のトップバッター！」

飛騨市 都竹市長 (H30.2 vol.2)

「人口減少先進地飛騨市は、将来の日本の魅力創出先進地となるべき」

下呂市 服部市長 (H30.3 vol.3)

「下呂市周辺の各地域との交流・連携の深化と、それを確保する安全なアクセス道路が必要」

白川村 成原村長 (H30.9 vol.7)

「地域力を結集したブランド形成が必要」

高山商工会議所 北村会頭 (H30.5 vol.4)

「時代の変化へ対応、世界基準への対応が重要」

神岡商工会議所 亀谷会頭 (H30.5 vol.4)

「国道41号を軸とした富山とのつながりの強化がこれからの鍵」

飛騨・高山観光コンベンション協会 堀会長 (H30.10 vol.8)

「日帰り2時間圏・宿泊4時間圏、このエリアをどう広げ、活用するかが鍵」

飛騨市観光協会 池田会長 (H30.11 vol.9)

「口コミと女性がつくるムーブメントへの対応が必要」

下呂温泉観光協会 瀧会長 (H30.6 vol.5)

「まだ十分使い切れていない観光の力を生かし、地域の生活の向上を！」

奥飛騨温泉郷観光協会 小瀬会長 (H30.6 vol.5)

「奥飛騨の地の良さを活かし、守りながら次の時代への取り組みが重要」

飛騨農業協同組合 駒屋組合長 (H30.12 vol.10)

「効率化、ブランド化を通じて、良質な飛騨の農産品を末永く消費者へ」

濃飛乗合自動車 齋藤社長 (H30.8 vol.6)

「道で大きく変わる地域、飛騨」

Twitter



事務所HP



～ 国道41号石浦バイパス 宮峠トンネル工事 貫通記念～ 地元中学校 3年生への貫通石授与

国道41号石浦バイパス宮峠トンネル工事が無事貫通したことを受けて、本工事の施工業者であるアイサワ工業（株）より、トンネル工事現場が地元である中学校の3年生に対して貫通石が配布されました。

配布に至った経緯

貫通石は意思（石）を貫くという意味で受験のお守りとして用いられております。トンネル工事では地域の皆様に大変ご協力いただきましたので、トンネル工事の地元である中学校3年生に対して、施工業者であるアイサワ工業（株）より感謝の気持ちを込めて、貫通石を配布することとなりました。



<配布先>

宮中学校3年生	21名
久々野中学校3年生	33名
朝日中学校3年生	15名

※ 一般の方への貫通石配布は行っておりませんので、ご了承願います。

久々野中学校3年生の皆様への貫通石授与式

高山市久々野支所のご協力をいただきまして、久々野中学校の3年生（33名）の皆様に対しましては、アイサワ工業（株）から貫通石を直接手渡しする授与式を久々野支所にて12月21日（金）に実施しました。



生徒一人一人に直接手渡し



トンネル工事の流れについて説明

トンネル工事は無事貫通しましたがまだ工事は続きます。今後も地域の皆様に配慮しながら工事を進めて参りますので、引き続きご協力の程、よろしくお願い致します。

<参考> 宮峠トンネル事業については下記URLをご参照願います。

高山国道事務所HP <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/gaiyou/miyatouge.html>

走行時のフロントガラスの「くもり」 にご注意を！！

雨の日や寒い日にトンネルを走行すると、急にフロントガラスやヘルメットのシールド等が「くもる」場合があります。

これは、走行中に冷えたフロントガラスやヘルメットのシールド等が、トンネル内の暖かい空気に触れることによって生じる結露と考えられます。

<運転の際の注意点>

○お車の場合

慌てずにワイパーでくもりをとり、エアコン(デフロスタ)や側面窓ガラスを開けるなど外気との温度差を小さくすることで、くもりは徐々になくなります。

○自動二輪車の場合

トンネル進入時は安全な速度と余裕ある車間距離の確保をお願いします。また、走行前に市販されている「くもり止め剤」をシールド部分に塗っておくことをお勧めします。

冬の飛騨路は、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なります。
通行時は、**車間距離を十分とって慎重な運転**を心がけて下さい。



「冬のドライブなび中部」のご紹介

「冬のドライブなび中部」では各種の道路情報を発信中！！

降雪状況、路面状態、気象情報などお出かけ前にチェック!!

冬の飛騨路を安全・関心・快適なドライブを！！

ニーズに応じて各種情報を確認して下さい

①道路規制情報 ②地域別道路情報 ③ライブカメラ映像

・飛騨地域、美濃地域、1号鈴鹿峠、名阪国道、富士山周辺、御殿場周辺、長野県南部地域

④積雪・凍結情報 ⑤気象情報 ⑥冬装備の備え ⑦雪道の運転テクニック

<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/fuyumichi.html>

ブックマークしておくとお便利です！

運転中の携帯電話の利用はお控え下さい(運転中に携帯電話を手で保持しての使用は法令違反です)



※インターネットで「冬のドライブなび中部」で検索していただければご利用できます。